

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原加工共配センター増築工事	階数	地上4階
建設地	相模原市中央区清新八丁目34-1の一部他	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	200 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年6月18日
敷地面積	19,524 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社奥村組
建築面積	10,928 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月18日
延床面積	27,509 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社奥村組



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 42%  
上記+ 以外の: 80%  
上記+: 80%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	倉庫としての機能を損わない範囲で室内環境の向上、設備を含めた耐用年数の長期化に努めた。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	遮音性能T-2のサッシを採用し、室内の音環境を良好に保っている。内装材Fの建材を採用し、空気室環境を良好に保っている。喫煙室を設置し、非喫煙者に配慮をしている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 行政上必要な緑地を確保し、倉庫として良好な景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b>	エネルギーについての標準的な配慮を行っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> の排出率を80%とし、他の項目についても標準的な配慮を行っている。
<b>Q2 サービス性能</b>	主要配管に塩化ビニル管を使用し、期待耐用年数40年以上とすることで耐用年数を標準以上としている。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	発泡系の断熱材を不使用とするなど、資源に対して配慮をしている。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 'ライフサイクルCO<sub>2</sub>'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される